

学校レポーター・S コラム

「完走した後の達成感は最高です！」

11HR 大窪 健太さん
マラソン大会が終つての感想
は、凄くほっとしています。なぜ
かというと陸上部としてのプレッ
シャーがあつたからです。

友達からも「陸上部だから勝て
るだろ」などと言われ、本番まで
とても緊張していました。

1、2時間目の授業をやってい
ても緊張とプレッシャーで授業ど
ころじやなかつたです。

その調子でマラソン大会がスタ
ートしました。

走り始めると緊張やプレッシャ
ーが消え、「絶対勝ちたい」とい
う気持ちになりました。

最初は楽でしたがどんどんペー
スが速くなつていき、最後の1キ
ロがとても苦しかつたです。

でも応援してくれる人たちがい
てくれて、最後まであきらめずに
走りきることができました。

結果1位になることができ、ゴ



11HR 大窪 健太さん

今号の「学校レポーター・S コラム」は川根高校で行われた
マラソン大会で優勝した大窪さん、瀧澤さんに寄稿いただきました

「声援に勇気づけられ走り続けました」

34HR 瀧澤 沙耶さん

私にとって、今年が高校生と
しての最後のマラソン大会でした。

私は、1年の時に2位という
結果を残す事が出来ました。

その事は、バスケットボール
部に所属している私にとって確
かな自信に繋がりました。

2年になつたら絶対に1位を
取りたいと強く思いました。

しかし、2年の時は足の怪
我のため出場する事が出来ず悔
しい思いをしました。

その事もあり、今年のマラソ
ン大会では「必ず1位を取る
ぞ！」と強く思っていました。

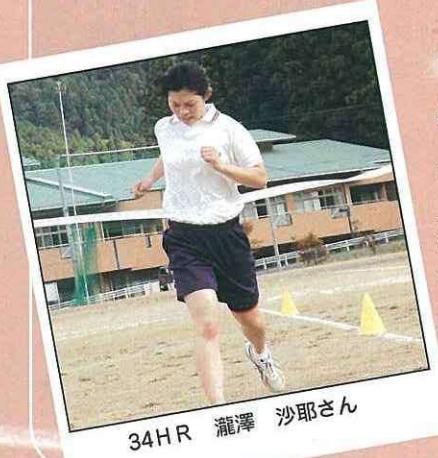
体育の練習では、本番をイメ
ージして、自分のベストを知ろ
うと全力で取り組みました。

高校最後の年に1位を取れて
とても嬉しかつたです。

マラソンはとても疲れるスポー
ツですが、完走した後の達成感は
最高だと思います。

僕はこれからもマラソンを続け
ていきたいです。

マラソンは自分を追い込み自
分を成長させるスポーツであり、



34HR 瀧澤 沙耶さん

つらくて、孤独で過酷なスポー
ツでもあると私は思います。

そんなスポーツだからこそ真
剣に取り組めるのだと思います。
走つている時は、何を考えて
いたか覚えていません。

ただ勝ちたいと、誰にも負け
たくないと思つていただけでした。
た。折り返し、ゴールに向かつ
て走つているとたくさんの人達
からたくさん声援を受けまし
た。苦しく何度も歩きたいと思
つたけれど、その声援に勇気付
けられゴールに着くまで走り続
ける事が出来ました。

高校最後の年に1位を取れて
とても嬉しかつたです。